

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	平成27年3月13日
【四半期会計期間】	第9期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社ロジネットジャパン
【英訳名】	LOGINET JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 木村 輝美
【本店の所在の場所】	札幌市中央区大通西8丁目2番地6
【電話番号】	札幌011(251)7755(代表)
【事務連絡者氏名】	企画担当部長 橋本 潤美
【最寄りの連絡場所】	札幌市中央区大通西8丁目2番地6
【電話番号】	札幌011(251)4112
【事務連絡者氏名】	企画担当部長 橋本 潤美
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

1. 訂正の経緯

当社は、平成27年2月5日取締役会決議により、平成27年2月6日に当社と利害関係を有しない外部の専門家から構成される第三者委員会を設置し、グループ間取引の適切性について調査を進めてまいりました。今般、平成27年3月6日付第三者委員会の調査報告を受け、財務諸表の修正等必要と認められる訂正を行うことといたしました。

2. 会計処理

四半期連結財務諸表におけるのれん及び固定資産の評価の見直しを行い、その他必要と認められる修正を行いました。

これらの決算訂正により、当社が平成25年8月14日に提出いたしました第9期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）に係る四半期報告書、平成26年5月19日に提出いたしました四半期報告書の訂正報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当該訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第8期 第1四半期連結 累計期間	第9期 第1四半期連結 累計期間	第8期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
営業収益(千円)	11,461,490	11,657,323	49,220,273
経常利益(千円)	256,344	<u>107,743</u>	810,716
四半期(当期)純利益(千円)	125,292	<u>93,163</u>	<u>413,586</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	23,939	<u>115,851</u>	<u>725,201</u>
純資産額(千円)	6,702,090	<u>7,249,770</u>	<u>7,221,665</u>
総資産額(千円)	32,815,832	<u>31,190,011</u>	<u>30,933,351</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	9.64	<u>7.63</u>	<u>32.50</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	20.1	<u>22.9</u>	<u>23.0</u>

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 営業収益には消費税等は含んでおりません。

(訂正後)

回次	第8期 第1四半期連結 累計期間	第9期 第1四半期連結 累計期間	第8期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
営業収益(千円)	11,461,490	11,657,323	49,220,273
経常利益(千円)	256,344	<u>124,432</u>	<u>827,405</u>
四半期純利益又は当期純損失 () (千円)	125,292	<u>77,166</u>	<u>713,192</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	23,939	<u>99,855</u>	<u>401,577</u>
純資産額(千円)	6,702,090	<u>6,106,994</u>	<u>6,094,886</u>
総資産額(千円)	32,815,832	<u>30,047,236</u>	<u>29,806,572</u>
1株当たり四半期純利益又は1株 あたり四半期純損失()(円)	9.64	<u>6.32</u>	<u>56.05</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	20.1	<u>20.0</u>	<u>20.1</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 営業収益には消費税等は含んでおりません。
4. 第9期第1四半期連結累計期間の数値は、誤謬の訂正による遡及処理後の数値であります。また過年度の決算訂正を行い、平成26年5月19日及び平成27年3月13日に訂正報告書を提出しております。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の状況

(省略)

営業収益につきましては、貨物自動車運送部門や鉄道利用運送部門が堅調に推移したことなどから、前年同期比1億9千5百万円増(+1.7%)の116億5千7百万円となりました。

利益面につきましては、増収による効果はあったものの、原油価格の高止まりによる燃料費や航送料の負担が増加したことに加え、青山本店グループにおいて外部費用が突出したことなどから、営業利益は前年同期比4千9百万円減(32.8%)の1億2百万円となりました。また、前期は車両売却益9千2百万円の計上があったことから、経常利益は前年同期比1億4千8百万円減(58.0%)の1億7百万円となりました。

これらに投資有価証券売却益8千8百万円を加えた結果、当期純利益につきましては、前年同期比3千2百万円減(25.6%)の9千3百万円となりました。

(省略)

青山本店グループ

当社グループを構成する青山本店グループでは、貨物自動車運送部門が減収となったことにより、営業収益は前年同期比3億5百万円減(16.2%)の15億7千4百万円となりました。一方、セグメント利益(営業利益)につきましては、外部費用が突出したことなどから、前年同期比1億4千万円減少し、9千1百万円の営業損失となりました。

(訂正後)

(1)業績の状況

(省略)

営業収益につきましては、貨物自動車運送部門や鉄道利用運送部門が堅調に推移したことなどから、前年同期比1億9千5百万円増(+1.7%)の116億5千7百万円となりました。

利益面につきましては、増収による効果はあったものの、原油価格の高止まりによる燃料費や航送料の負担が増加したことに加え、青山本店グループにおいて外部費用が突出したことなどから、営業利益は前年同期比3千3百万円減(21.8%)の1億1千8百万円となりました。また、前期は車両売却益9千2百万円の計上があったことから、経常利益は前年同期比1億3千1百万円減(51.5%)の1億2千4百万円となりました。

これらに投資有価証券売却益8千8百万円を加えた結果、四半期純利益につきましては、前年同期比4千8百万円減(38.4%)の7千7百万円となりました。

(省略)

青山本店グループ

当社グループを構成する青山本店グループでは、貨物自動車運送部門が減収となったことにより、営業収益は前年同期比3億5百万円減(16.2%)の15億7千4百万円となりました。一方、セグメント利益(営業利益)につきましては、外部費用が突出したことなどから、前年同期比1億3千7百万円減少し、8千7百万円の営業損失となりました。

第4【経理の状況】

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,988,991	2,831,059
受取手形	890,066	897,298
営業未収入金	5,796,107	5,535,229
たな卸資産	65,395	68,735
繰延税金資産	128,879	120,834
その他	1,233,257	1,293,694
貸倒引当金	8,929	8,206
流動資産合計	10,093,769	10,738,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,385,891	4,331,255
機械装置及び運搬具(純額)	3,570,377	3,584,972
土地	6,796,320	6,796,320
その他(純額)	942,449	996,637
有形固定資産合計	15,695,039	15,709,186
無形固定資産		
のれん	983,840	970,723
その他	210,041	209,897
無形固定資産合計	1,193,882	1,180,620
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311,915	923,772
繰延税金資産	175,166	181,090
差入保証金	1,776,752	1,783,947
その他	748,075	733,344
貸倒引当金	61,249	60,596
投資その他の資産合計	3,950,660	3,561,559
固定資産合計	20,839,582	20,451,365
資産合計	30,933,351	31,190,011

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	808,927	710,150
営業未払金	4,615,944	4,160,601
短期借入金	9,539,440	10,309,673
未払法人税等	496,933	99,622
役員賞与引当金	43,075	-
資産除去債務	44,898	44,898
その他	2,087,150	2,719,614
流動負債合計	17,636,369	18,044,560
固定負債		
長期借入金	4,693,439	4,495,307
繰延税金負債	273,109	261,822
退職給付引当金	173,117	178,666
役員退職慰労引当金	155,940	164,310
資産除去債務	73,345	73,674
その他	706,365	721,899
固定負債合計	6,075,316	5,895,680
負債合計	23,711,686	23,940,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	557,007	557,007
利益剰余金	6,149,258	6,156,902
自己株式	531,623	531,925
株主資本合計	7,174,642	7,181,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,023	39,921
その他の包括利益累計額合計	58,023	39,921
少数株主持分	105,046	107,707
純資産合計	7,221,665	7,249,770
負債純資産合計	30,933,351	31,190,011

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,988,991	2,831,059
受取手形	890,066	897,298
営業未収入金	5,796,107	5,535,229
たな卸資産	65,395	68,735
繰延税金資産	104,864	103,733
その他	1,233,257	1,293,694
貸倒引当金	8,929	8,206
流動資産合計	10,069,754	10,721,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,309,903	4,256,972
機械装置及び運搬具(純額)	3,570,377	3,584,972
土地	6,790,324	6,790,324
その他(純額)	907,390	963,443
有形固定資産合計	15,577,995	15,595,713
無形固定資産	210,041	209,897
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311,915	923,772
繰延税金資産	173,287	139,611
差入保証金	1,776,752	1,783,947
その他	748,075	733,344
貸倒引当金	61,249	60,596
投資その他の資産合計	3,948,781	3,520,080
固定資産合計	19,736,818	19,325,690
資産合計	29,806,572	30,047,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	808,927	710,150
営業未払金	4,615,944	4,160,601
短期借入金	9,539,440	10,309,673
未払法人税等	496,933	99,622
役員賞与引当金	43,075	-
資産除去債務	44,898	44,898
その他	2,087,150	2,719,614
流動負債合計	17,636,369	18,044,560
固定負債		
長期借入金	4,693,439	4,495,307
繰延税金負債	273,109	261,822
退職給付引当金	173,117	178,666
役員退職慰労引当金	155,940	164,310
資産除去債務	73,345	73,674
その他	706,365	721,899
固定負債合計	6,075,316	5,895,680
負債合計	23,711,686	23,940,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	557,007	557,007
利益剰余金	5,022,480	5,014,127
自己株式	531,623	531,925
株主資本合計	6,047,863	6,039,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,023	39,921
その他の包括利益累計額合計	58,023	39,921
少数株主持分	105,046	107,707
純資産合計	6,094,886	6,106,994
負債純資産合計	29,806,572	30,047,236

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業収益	11,461,490	11,657,323
営業原価	11,886,960	11,134,843
営業総利益	574,529	522,479
販売費及び一般管理費	422,503	420,271
営業利益	152,025	102,207
営業外収益		
受取利息	4,411	4,041
受取配当金	27,249	22,865
寮収入	12,703	11,173
車両売却益	92,784	2,962
その他	36,231	25,051
営業外収益合計	173,380	66,093
営業外費用		
支払利息	36,704	30,770
寮支出	27,806	22,161
その他	4,551	7,625
営業外費用合計	69,062	60,557
経常利益	256,344	107,743
特別利益		
投資有価証券売却益	-	88,504
特別利益合計	-	88,504
特別損失		
固定資産除売却損	15,349	-
会員権評価損	185	-
リース解約損	9	776
特別損失合計	15,544	776
税金等調整前四半期純利益	240,799	195,471
法人税、住民税及び事業税	102,525	96,117
法人税等調整額	6,147	1,603
法人税等合計	108,673	97,721
少数株主損益調整前四半期純利益	132,126	97,750
少数株主利益	6,834	4,587
四半期純利益	125,292	93,163

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	11,461,490	11,657,323
営業原価	10,886,960	11,131,833
営業総利益	574,529	525,490
販売費及び一般管理費	422,503	406,593
営業利益	152,025	118,896
営業外収益		
受取利息	4,411	4,041
受取配当金	27,249	22,865
寮収入	12,703	11,173
車両売却益	92,784	2,962
その他	36,231	25,051
営業外収益合計	173,380	66,093
営業外費用		
支払利息	36,704	30,770
寮支出	27,806	22,161
その他	4,551	7,625
営業外費用合計	69,062	60,557
経常利益	256,344	124,432
特別利益		
投資有価証券売却益	-	88,504
特別利益合計	-	88,504
特別損失		
固定資産除売却損	15,349	-
会員権評価損	185	-
リース解約損	9	776
特別損失合計	15,544	776
税金等調整前四半期純利益	240,799	212,160
法人税、住民税及び事業税	102,525	96,117
法人税等調整額	6,147	34,289
法人税等合計	108,673	130,406
少数株主損益調整前四半期純利益	132,126	81,753
少数株主利益	6,834	4,587
四半期純利益	125,292	77,166

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,126	97,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,066	18,101
その他の包括利益合計	156,066	18,101
四半期包括利益	23,939	115,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,739	111,262
少数株主に係る四半期包括利益	6,799	4,589

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,126	81,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,066	18,101
その他の包括利益合計	156,066	18,101
四半期包括利益	23,939	99,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,739	95,265
少数株主に係る四半期包括利益	6,799	4,589

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

(省略)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	308,857千円	309,001千円
のれんの償却額	13,117	13,117

(訂正後)

(省略)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	308,857千円	305,432千円
のれんの償却額	13,117	-

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

(訂正前)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	青山本店 グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	8,503,616	1,505,348	1,574,121	11,583,086	74,236	11,657,323
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,113,115	128,034	268,877	1,510,027	357,016	1,867,043
計	9,616,731	1,633,383	1,842,999	13,093,114	431,252	13,524,367
セグメント利益又は損失 ()	119,433	76,722	91,486	104,668	231,890	336,559

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は222,138千円であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	104,668
「その他」の区分の利益	231,890
受取配当金の消去	222,138
のれんの償却額	13,117
その他の調整額	904
四半期連結損益計算書の営業利益	102,207

(訂正後)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	青山本店 グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	8,503,616	1,505,348	1,574,121	11,583,086	74,236	11,657,323
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,113,115	128,034	268,877	1,510,027	357,016	1,867,043
計	9,616,731	1,633,383	1,842,999	13,093,114	431,252	13,524,367
セグメント利益又は損失 ()	119,433	76,722	87,813	108,342	231,890	340,232

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は222,138千円であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	108,342
「その他」の区分の利益	231,890
受取配当金の消去	222,138
その他の調整額	802
四半期連結損益計算書の営業利益	118,896

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円64銭	7円63銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	125,292	93,163
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	125,292	93,163
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,992	12,216

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円64銭	6円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	125,292	77,166
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	125,292	77,166
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,992	12,216

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

【当年ノレビュー報告書】

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年3月13日

株式会社ロジネットジャパン

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 香川 順 印

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 津村 陽介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロジネットジャパンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロジネットジャパン及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の連結財務諸表に対して平成25年8月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上